

アズマヒキガエルの生活史①



撮影日：2017年5月4日



石狩市親船町の名無沼では、4月中旬頃から、水辺に向かって移動するヒキガエルが沼や河川の周辺に現れます。

名無沼では、5月の連休シーズンにヒキガエルの産卵行動である「ガマ合戦」がみられます。



次ページへ続く



アズマヒキガエルの生活史②



オスとメスが交接し、メスは約1,500～8,000個の1本の数珠状の卵(卵紐:らんちゅう)を産みます。



産卵から約1週間程度で孵化し、幼生になります。幼生は1～3ヶ月程度で仔ガエルに変態します。



次ページへ続く



アズマヒキガエルの生活史③



幼生が仔ガエルに変態したときの体長はわずか5～8mm程度です。



晩秋～春にかけて土にもぐり、冬眠します。約3～4年で繁殖年齢に達し、10年近く生き続ける個体もいます。

